

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし
の碑（初代PTA会長盛合聡の揮毫）がある。

変えられるのは未来と自分だけである

校長 兼 平 栄 補

「過去と人（他人）は変えられない。変えられるのは未来と自分だけである。」という言葉がある。人には誰しも悲しく思い出したくもない辛い過去がある。あって当然である。たいていの人は、そんな過去を思い出さないよう意識して忘れようとしているし、そんな過去を次の踏み台にして生活している。けれど、なかにはいつまでもそれにとらわれてくよくよしたり、自分はダメな人間だなどと思いつつ、自分を責めたりする人もいます。

つまり、今まで生活をしてきた人や事柄を否定しても何も始まらない。困難なことを他人や環境のせいにして、「条件が変われば」とか「環境を変えてくれれば」と言っていたのでは、展望は開けないのである。変えることができるのは自分だけである。自分の言い方や考え方で、相手も、組織も、結果的に変わってくれ、未来もより良く変えることができると思う。「人（他人）を変えようと思ったら、先ず自分を変えよ。」である。

今、3年生は因果応報様々な結果を残し、色々な表情を見せながら卒業し、大きな転機を迎えようとしている。今後何を重視すべきか、何に気遣いをすればよいのだろうか。

盛岡グランドホテルを再建した高塚氏は次のように言っている。

第一に、人の力を借りる（人が力を貸そうという気持ちにさせる）。これがまず大前提。自分一人で物事を進めようとする、目標設定も小さくなる。何かをしようとしたとき、「それはできません」とすぐ答える人は、ほとんどが自分一人でしようと考えているからである。自分一人でくよくよせずに、できるだけ多くの人を仲間だと思って力を借りる。そうすれば力が何倍にもなる。

第二に、目的を決めて、目標を設定する。何かを決めるときに留意することは、「正しい、正しくない」の基準ではなく、「何を大切にするか、そのためにいくつかの正しいことを捨てる勇気があるか」ということである。そして「何のためにこの目標があるのか」と

いうことである。

第三に、コミュニケーションとコンセンサス（合意）を大事にする。目標を達成するためには、人の力を借りなければならない。そのときもっとも大切なことが、コンセンサスを得るためのコミュニケーションである。すべてはコミュニケーションから始まるのである。

すなわち、周囲とコミュニケーションを図りながら人の力を借り、「いま大切なこと＝目標」に勇気をもって取り組み、必ず未来は良い方向に変わっていくということだ。

在校生諸君も、新しい年度を迎えるのを機に、過去の自分と決別して、新しい自分を発見する意欲を持ちたいものだ。

21世紀は激しい変化の波と戦わねばならない時代である。学校生活の中でしっかりと学び、友情を育て、スポーツを通して忍耐力や克己心を育み「生きる力」を身に付けて将来に備えなければならない。

これらの学びを武器にして未来の扉を開けて飛び出そう。後戻りしないために、過去の扉を閉めておこう。未来と自分を変えられるのは、学校時代に身に付けたこれらの力であることを信じて、未来社会に旅立とう。

3月行事予定

- 1日(月) 卒業証書授与式
- 4日(木) 進級判定会議
- 9日(火) 一般入学者選抜学力検査
- 11日(木) 定例職員会議
- 16日(火) 合格者発表
- 23日(火) 終業式・離任式
- 26日(金) 入学手続き
- 29日(月) P T A 監査

入試に係る日程は、受検生のインフルエンザ罹患状況により変更になる場合があります。

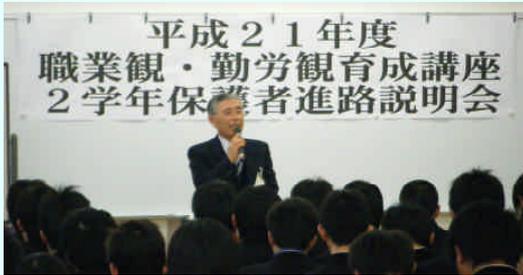
2月に行われた講演会

2月2日（火）

「勤労観・職業観育成講座」

対象 2学年生徒・保護者

講師 宮古市産業支援センター
コーディネーター 伊藤恒夫氏



「2学年保護者進路説明会」

対象 2学年保護者

内容 本校の進路指導の概要説明



2月22日（月）

「進路ガイダンス」

対象 2学年生徒

講師 (株)さんぽう 専任講師



2月24日（水）

「進路選択について」

対象 1学年生徒対象

講師 (株)さんぽう 専任講師



「マナーアップ講座」

2学年生徒

講師 盛岡公務員法律専門学校事務局次長



3級技能士に挑戦

2月5日、6日、本校を会場に3級技能検定試験が行われました。

「建築配管作業」は建築設備科2年の5名が受験しました。昨年度は5名受験し4名が合格しています。

「電気機器組立作業」は電気電子科2年の7名が受験しました。初挑戦です。



建築配管作業



電気機器組立作業

